



石神台 防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会
第48号 広報班
平成29年11月

北西部地域に 防災行政無線増設 を調査依頼！

石神台には3か所（東公園・南公園・北公園側）に防災行政無線のスピーカーがあります。しかし、北西部地域では風向きなどによっては聞こえないところがあります。10月初めにこの地域の参加者で話し合い、次の場所に町が設置できないか町に調査を依頼しました。



1. 水道山の県企業庁国府配水池の北西側斜面。
2. 3丁目北西部の町道石神台5号線の北側奥。



交換され“美化”された街頭消火器

街頭消火器が写真のようにきれいになりました。町並みの美化にもなりますね。段階的に町消防が新しいタイプと交換するそうです。

消防署に聞きました。「大磯町には街頭消火器が約800本あり、予算的に80本ずつ交換していきます。初期消火は家に限らず、ゴミ置き場や枯草が燃えた時などに使えます。使った時は必ず119番通報をしてください。『火災扱い』となり無償で交換します。」とのことでした。



“にこにこマーク”は「わが家の無事！」を知らせる『信号旗』、災害時には在宅全員が無事なときは道路から見える場所に掲示しましょう。掲示がない時はご近所が協力して助け合うことになります。毎月第1土曜日の午前中に掲示訓練をしています。12月は2日、1月は6日です。

赤十字救命訓練報告シリーズ第4弾 救急隊員のアドバイス



冬季のヒートショックに要注意

- ① 冬季は暖房している部屋と暖房していない脱衣所、風呂場、トイレ及び廊下では温度差があるのでヒートショックに注意が必要である。
- ② 暖かいところから寒いところに出ると血管が急激に収縮するので高齢者や高血圧の人は要注意。

大磯町自主防災組織 連絡協議会の研修会に参加

大磯町自主防災組織連絡協議会研修会が10月31日(火) 厚木にある神奈川県総合防災センターで開催され、石神台から2名参加いたしました。

実施研修でシーツや毛布を使った簡易救急搬送訓練や、体験学習で震度7の揺れや風速30mの暴風など体験しました。最後に避難所運営図上訓練(HUG)をグループに分かれて行いました。

実際の避難所となる学校の体育館、校舎、校庭の平面図を使って避難所運営の模擬体験です。様々な家族構成の被災者を体育館や校舎に振り分けたり、トイレ対策や毛布等物資の到着、ボランティアの受け入れなど、次々と出されるカードに、グループで議論しながら対処し、図上訓練を終えました。

過去の災害を教訓にして避難所で何が起こるかはある程度想定できますが、ニーズは時間の経過で大きく変化する難しさもあります。避難所の運営において、リーダーや運営委員のリーダーシップが如何に大切かを学んだ一日でした。(T 記)

